

平成23年度 学校経営環境分析書

平成23年 4月30日

校番(23)(呉市立倉橋西中)学校

1 学校の内外環境の分析

外部環境	<p>O (支援的要因)</p>	<p>S (強み)</p>	内部環境
	<p>【地域】 ①地域の教育素材(自然, 歴史, 産業, 文化)に恵まれている。 ②地域からの支援協力など学校教育に好意的である。 【呉市】 ①小中一貫教育を全市的に推進している。 ②学力の向上と規範意識の涵養の徹底・前進が求められる。 ③郷土を愛する心の育成が奨励される。 【県・国】 ①学習指導要領の改訂により「生きる力」知徳体の調和のとれた育成が求められる。 ②是正指導, 危機管理体制の徹底, 不祥事の根絶が求められる。</p>	<p>【学校】 ①小規模校で, 全教職員が生徒によく関わり, 一人一人の個性や課題を把握し, きめ細やかな指導が可能である。 ②教職員の人数が少なく, 一つにまとまった行動ができる。 ③小学校1校, 中学校1校の校区で小中一貫教育の推進に係る連携がとりやすい。 【生徒】 ①生徒は, 素直, 親切で元気な子が多い。 【保護者】 ①子どもの健全な成長を願い, 学校に協力的である。</p>	
	<p>T (阻害的要因)</p>	<p>W (弱み)</p>	
	<p>【地域】 ①少子高齢の過疎傾向の地域であり, 子どもの人数が少ない。 ②子どもの教育への関心が希薄な家庭がある。 ③バス通学の生徒が多いにもかかわらず, バスの便が少ないので, 学校教育の時間帯が制限される。 【呉市】 ①6年前の合併町であり, 市内中心部から遠方にある。 【県・国】 ①施策の内容が一律であり, 学校の工夫が必要である。</p>	<p>【学校】 ①学校の施設・設備が老朽化しており, 運動場も狭い。 ②教室の絶対数が少なく, 多様な教育に支障がある。 【生徒】 ①国語, 数学, 英語など積み重ねの必要な教科における基礎・基本の学力の定着が不十分である。 ②小規模校での限られた人間関係のなかで, 「聞くこと」「話すこと」などの言語活動の充実が課題である。 ③特別な支援を要する生徒がいる。 【保護者】 ①生徒に学習習慣を身に付けさせることが難しい。</p>	<p>○ベーシックタイム (BT) を充実させ, つまづきの克服と学習への興味付けを図る。 ○言語活動の充実を図り, 生徒の表現力を育て, 自主性を伸ばす。 ○ノートの活用, 家庭学習を奨励する。 ○特別支援教育を充実させる。 ○生徒理解をすすめて, 教育相談を実施する</p> <p>弱みを克服し, 阻害的要因を回避する解決策は</p>

2 重点課題

- ① 授業改善
「書いて話す」言語活動の研究, 学びのポイントを的確に押さえた授業づくり, ベーシックタイムの充実, 特別支援教育の充実
- ② 小中一貫教育
ふるさと学習の改善, 交流授業・合同行事の継続実施
- ③ 生徒指導
基本的な生活習慣の定着, 規範意識の高揚, 生徒の自主的活動の奨励
- ④ 教育相談
生徒理解のための教育相談の充実, 生徒の悩み等への支援